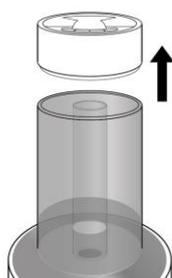


振動板のお掃除方法

どうしても振動板に銀が積もってしまうと噴霧量が少なくなったり、積もりすぎて振動しなくなり、振動板が損傷してしまい、噴霧できなくなってしまいます。
小まめなお手入れをお願いします。

①吹き出し口のある、ノズルヘッドを取ります。



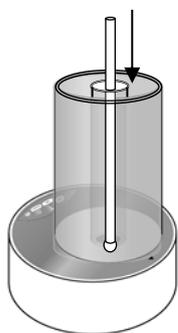
②電源アダプタを外して、液体ユニットの水を排水します。

必ず、**後ろから排水してください。**

前や横から排水すると、本体内部に水が入り、**故障の原因になります。**



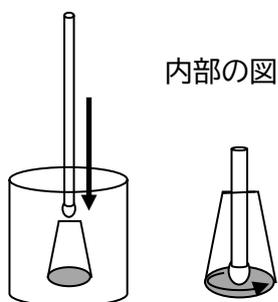
③お掃除スティックを内側パイプに入れます。



④内部霧化ユニット内にある円錐形の底にある振動板を軽くこすると化合物が付いてきます。 →



※水を交換するときを目安に行ってください。

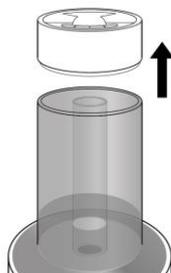


※お掃除の時期は、希釈する水や周りの空気などの環境によって左右されます。
快適に長くお使いいただくためにも、お掃除を欠かさず行ってください。

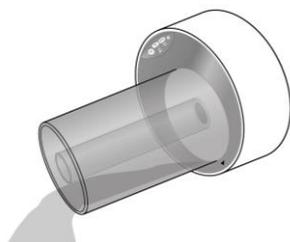
霧化ユニットのお掃除方法

振動板も銀が積もりませんが、内部の霧化ユニットも希釈する水や周りの空気によって、化合物が溜まります。定期的にお掃除をお勧めします。

①吹き出し口のある、ノズルヘッドを取ります。

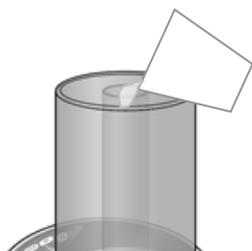


②電源アダプタを外して、液体ユニットの水を排水します。
必ず、後ろから排水してください。



前や横から排水すると、本体内部に水が入り、故障の原因になります。

③内側パイプにベストウォッシングを一つまみ程度溶かした50ml程度の水を入れます。注意！これ以上の量の水は入れないでください！また、お掃除以外の時は、内側パイプには、水を入れしないでください！故障の原因になります。



④しばらく、そのままにしてから、本体の底を持ち、軽くゆすって排水します。汚れが気になる場合は、内側ユニットをブラシなどでお掃除してください。内側に入れることができる量は50ml程度です。これ以上の量の水は入れないでください！また、お掃除以外の時は、内側パイプには、水を入れしないでください！故障の原因になります。



その後は、水などでゆすいで、排水を繰り返してください。

※水を交換するときを目安に行ってください。

※お掃除の時期は、希釈する水や周りの空気などの環境によって左右されます。

快適に長くお使いいただくためにも、お掃除を欠かさず行ってください。